



特集

市民が主役のまちづくりを實踐中 5周年を迎えた市民ネットワーク『いまり』



まちづくり大賞『銀賞』受賞団体（波多津町まちづくり運営協議会）の発表



まちづくり大賞『銅賞』受賞団体（伊万里市観光ボランティアガイドの会）の発表



まちづくり大賞『審査員特別賞』受賞団体（元気バス協議会）の発表



記念式典であいさつをする前田理事長



まちづくり大賞表彰（金賞を受賞した特定非営利活動法人NPO栄町地域づくり会）



まちづくり講演会（講師はNPO法人吉備野工房ちみち理事長の加藤せい子さん）

市には、多種多様な市民活動団体で組織する市民ネットワーク『いまり』があります。平成20年11月に設立し、昨年11月に5周年を迎えました。設立当初は手探りで始まった市民ネットワーク『いまり』の活動も、現在は団体間の情報共有や発信、交流などを重ね、連携を強化しながら『市民が主役のまちづくり』に取り組んでいます。

● 問合先 男女協働・まちづくり課地域の元気推進係

(☎ 23115)

市民ネットワーク『いまり』は、設立5周年の節目を迎え、市民活動のさらなる活性化へつなげるため、2月16日に市民図書館で記念式典を開催。記念事業として『まちづくり大賞』の表彰と受賞4団体による活動発表がありました。また、市民と行政との協働によるまちづくりをめざして、市主催による『まちづくり講演会』を同時開催しました。

- 『まちづくり大賞』受賞団体
- 金賞 特定非営利活動法人NPO栄町地域づくり会
- 銀賞 波多津町まちづくり運営協議会
- 銅賞 伊万里市観光ボランティアガイドの会
- 審査員特別賞 元気バス協議会
- 入賞 楠久獅子会、平山青年部、飯盛会

市民ネットワーク『いまり』を ご存じですか

5周年を迎えた市民ネットワーク『いまり』は、どのような目的で設立され、どんな活動をしているのでしょうか。ここでは、皆さんにこの組織を知ってもらうため、概要を紹介します。



まちづくりのヒントは会員交流会から

活動のあゆみ

まずはこれまでのあゆみを一覧表で振り返ってみます。

2026年 2月16日	2025年 2月10日	2024年 3月8日	2022年 10月10日	22年度	22 ～ 24 年度	22年度 ～	2022年 2月6日	21 ～ 22 年度	2021年 1月26日	2020年 11月27日
設立5周年記念事業開催	「いまるごと再発見！ まーるごと」一伊万里」開催	市環境基本計画実施計画についての意見交換会開催	市の補助金を活用して、市と共催でまちづくり講演会を開催	市の助成金を活用して、市民ネットワーク『いまり』のホームページを開設	市民活動団体間の連携強化を図るため市からの助成を受ける（伊万里市元気なまちづくり団体連携強化事業費補助金）	会員の活動を支援するため会員事業支援金を創設	地域づくり団体全国研修交流会佐賀大会伊万里分科会のホストを勤める	市民活動団体の活動拠点の機能強化を図るため、サポーターを1人配置（県から）	第1回会員交流会	設立（初代理事長は古賀幸則さん）

地域の活性化をめざして

市民ネットワーク『いまり』は、市民交流プラザを拠点に市内の市民活動団体をネットワーク化することで、人・情報などの交流を生み、それを生かして、地域の活性化につなげることを目的に設立されました。

市民活動を行うということ

『市民活動』、『市民活動団体』とは何でしょうか。『伊万里市民が主役のまちづくり条例』では、『市民活動』とは、多くの市民の幸福を願って、市民によって自主的に行われる非営利の活動（宗教、政治活動、選挙政党を支持する活動、公益を害する恐れのある活動を除く）で、これらの活動を行う団体を『市民活動団体』と定義しています。

25の団体に活動中

現在、17の正会員（右下に掲載）と8の賛助会員が加入し、活動を行っています。

楽しくまちづくりを議論

定例的な活動として、理事会と相互の連携強化や情報提供、交流を図るための会員交流会を毎月行っています。また、会員団体のイベントへの

誰でも会員になれます

市内を中心に活動する市民活動団体ならば加入できます（正会員年会費3000円。会員は、市民活動支援センターの会議室を無料で使うことができます）。事務局は、市民交流プラザ内にあります。

問合せ先

立花町1542番地16
伊万里市民交流プラザ内
☎️ 232198

市民ネットワーク『いまり』正会員（17団体） （平成26年2月1日現在）

伊万里お菓子倶楽部、伊万里市観光ボランティアガイドの会、伊万里市日中友好協会、伊万里市ボランティア連絡協議会、伊万里・食と農を考える会、伊万里地区認知症の人とその家族の会ひまわり会、いまり（菜の花）の会、クリーンの環、古伊万里ライオンズクラブ、一般社団法人伊万里青年会議所、地域社会活動研究会、特定非営利活動法人伊万里湾小型船安全協会、特定非営利活動法人 NPO 小麦の家、特定非営利活動法人日本青バイ隊、特定非営利活動法人まちづくり伊万里、図書館フレンズいまり、みどりの会（五十音順）

伊万里のためにできること



市民ネットワーク『いまり』は多くの皆さんの協力により設立5周年を迎えることができました。

私たちの愛する伊万里を明るい未来へと向かわせていくためには、私たち市民活動団体の『熱意』と積極的な『行動』が必要です。

これからさらに10年、20年と受け継がれていく

組織を構築し、加入している各団体がさらなる飛躍に向け、市民ネットワーク『いまり』が今まで以上に必要とされ、活用されるなど、進化を続けていけるよう取り組んでいきます。

皆さんもより良い伊万里のまちづくりのために一緒に取り組んでいきませんか。

市民が主役のまちづくりをめざして こんな活動をしています



ここでは、市民ネットワーク『いまり』会員の中から、いくつかの団体について活動内容などを取材しましたので紹介します。各団体の活動は、市民ネットワーク『いまり』に加入したことで、横の連携や協力体制が拡大・強化されていて、今後、さらに活動が広がっていくことが期待されています。

一般社団法人 伊万里青年会議所



理事長
百武 誠さん

会員は22人。伊万里青年会議所は、1966年、産業と社会情勢の変化により苦しみ、あえいでいた時代背景のなか、伊万里を愛する青年たちの手によって発足しました。私たち40歳までの年齢制限を置き、その若さと情熱を武器に、ネットワークの活動に加え、まちづくりに関するフォーラムや市民党議会、また、青少年を対象とした体験学習事業などを開催し、地域の活性化や青少年の心の醸成に取り組んでいます。

図書館フレンズいまり



代表
平松伸子さん

設立は平成7年。会員は約380人。市民図書館が市民のための図書館であり続け、守り育てることを目的に活動

しています。図書館の起工式

に市民200人が集まった熱い思いを忘れず完成を祝うための記念日『めばえの日』ゼンざい会や古本市、かるた会を開催し、また、図書館開館を祝う☆(ほし)まつりでは、図書館と26の市民団体が協働で事業を実施するなど、他団体との連携した取り組みを行っています。これらの活動も、ネットワークに加入したことで、さらに人の輪が広がっています。

クリーンの環^わ



代表
齊藤定子さん

会員52人。「ひとりにできる環境活動」を合言葉に、日々の暮らしの中で生まれた素朴な疑問や不便、好奇心をきっかけに学びながら活動しています。平成22年からは、市の21世紀市民ゆめづくり計画支援事業を活用して、『捨てない文化・活かす文化』の発信として、約1か月間『エコ屋つどい』を開催しました。これは、家庭で眠っている不用品などを提供してもらい、それ

を必要としている人に譲って

活用してもらうことで、環境活動についてのメッセージを発信しています。昨年10月に開催した第4回の『エコ屋つどい』は、ネットワークの補助金なども活用し、事業として自立、継続した取り組みができました。

特定非営利活動法人 まちづくり伊万里



会長
竹下 輝さん

伊万里のまちなかに、かつての賑わいを取り戻したい、どのようなまちなかを子どもたちに残してあげたいかなどを考えて活動しています。

『伊万里まちなか一番館』という市民が集い、活用する施設を核として、まちなかの商店街と連携して、賑わいを取り戻すため、『まちなか結婚式』などさまざまな事業に取り組みんでいます。自分の住む伊万里をもっと知ってもらい郷土愛の育成を図るための『伊万里コンシェルジュ検定試験』も実施しました。このように私たちは、まちなか

という地域の活性化を活動の出発点としながらも、市民一人ひとりが伊万里に住んで良かったと思えるまちづくりの取り組みも進めています。これはネットワークがあることで充実した活動ができていると実感しています。

取材を終えて

ここで紹介してきた市民活動はほんの一部ではありますが、やその活動がなかったら、と考えると伊万里のまちは何となく物足りないような感じがします。

市民活動は必要

行政にできること、市民にできること、役割分担や協働のまちづくりを考える中で、市民活動はなくてはならないものだと感じました。

5年間で作り上げたネットワークは大きな力

他市にはあまり例のないネットワークの存在は、団体にとって大きな力になっているようです。5年という年月をかけて作り上げてきた連携や協力体制は、これまで個別に行っていた市民活動をさらに拡大させ、充実した活動へとつなげているように感じました。

市民活動をさらに 活性化させていくために

市では、市民のまちづくり活動の拠点として、市民活動支援センター（市民交流プラザ内）を平成20年4月から設置しています。市民活動グループやボランティアなど、現在活動している団体や、これから活動しようと考えている団体が利用できます。



市民活動の拠点『市民交流プラザ』



市民交流プラザ利用案内

簡易印刷機 (A3 まで)
製版 30 円 / 版
印刷 5 円 / 枚
印刷 3 円 / 枚 (用紙持込)

自由に使えるミーティングルーム

最大80人まで可能な会議室

青年会議所の齊藤直美です。平日は事務局として私が待機しています。会議室の予約など気軽に相談してください。

認定団体の登録を受けると会議室使用料の減免を受けることができます。

コピー機 (A3 まで)
白黒 10 円 / 枚
カラー 50 円 / 枚

自由に使えるパソコン

利用申請があれば会議室のみ利用可能

※開館時間のお知らせ※
障害者生活支援センター
月～金 9:00～17:00
※祝日、年末年始は休館します。
市民活動支援センター
月～金 9:00～17:00
月～金 17:00～22:00
土、日、祝 9:00～22:00
※年末年始は休館します。

まちづくりの主角はあなたです

市では、市民との協働により皆さんが本当に望むまちづくりを進めるために『伊万里市民が主角のまちづくり条例』を制定し、市民活動の拠点として市民活動支援センターを設置しています。それから5年が経過し、着実に市民活動は歩みを進めています。

市民活動とは、決して強制ではなく、好きなことや興味のあることを通じて、まちづくりに参加することです。自分の住む地域が住みよいまちになることは、誰もが望むことで、そのために、多種多様な市民活動の力は欠かせないものです。そして、市民活動には『人』が必要です。多くの団体が、次代を担う『人材』を求めています。

まちづくりの主角は皆さんです。どんなことに興味があり、得意なものがあるかなどを考えてみましょう。まずはそこから、始めてみませんか。



男女協働・まちづくり課
地域の元気推進係
係長 小川徹也

市では市民活動団体とその活動を 紹介、支援しています

市では、市民活動団体を支援し、協働のまちづくりを推進するため『市民活動団体登録制度』を設けていて、現在44団体が登録しています。また、団体間の連携を深めるためや、これから何か始めようとする人のために、NPOやボランティア団体の情報を収集して冊子にまとめています。さらに、もっと身近に市民活動を感じてもらおうと、年に6回、『かたろうかい』を発行し、全世帯に配布する活動も行っています。これらのことについては、市のホームページでも紹介しています。

利用料金案内

設備	内容	料金
会議室 (小)	10人程度の会議室	200円 / 時間
会議室 (中)	30人程度の会議室	300円 / 時間
会議室 (大)	70人程度の会議室 (中会議室とミーティングルームを一体的に利用)	500円 / 時間
貸しロッカー (中)	月単位で利用できます	300円 / 月
貸しロッカー (大)	月単位で利用できます	500円 / 月
貸しブース	団体用事務所として利用できます	2,500円 / 月